

最後まで諦めない！

内定への近道は、

『自分を知る』

『会社を知る』

国際福祉開発学部

国際福祉開発学科

2021年3月卒業

VY THI THANH HUONG

ベトナム

内定先 | 株式会社高木ミンク

業界 | 製造（アパレル）業界

職種 | 生産管理職



### ■大学時代はどう過ごしていましたか？

言語の習得とアルバイトをしていました。言語は、日本語と英語、独学で中国語を勉強しました。最初は授業を理解することが大変でしたが、将来日本で就職することを目標に進学をしたので、英語の授業も積極的に履修し、アメリカでのフィールドワークを通し、コミュニケーション力を高めました。また韓国と台湾の国際イベントに参加し、英語でプレゼンテーションを行いました。他国の学生とも交流することができ、充実した学生生活を過ごすことができました。

### ■就職活動はどのように進めていましたか？

3年生の10月から自己分析をはじめました。マイナビやリクナビなどの就職サイトに登録して、情報収集をしながら、業界や職種、企業研究をしました。私は、『留学生積極採用』というキーワードで企業を探し、気になった企業にエントリーし、説明会・選考と進めていきました。コロナウイルス感染拡大の影響で、4月中旬頃から合同説明会がほぼ中止になり就活ができなくなりましたが、6月からハローワークで求人紹介が始まったので、そこから再開して8月上旬に内定を得ることができました。

### ■具体的にどのような業界や職種、何社の選考を受けましたか？

最初は、空港関係や物流、観光、ホテル業でベトナム語や英語を活かせる仕事を探しました。業界や職種を調べながら、その仕事をしている人に話を聞くうちに、自分のイメージと実際の仕事内容や職場環境が違うことを知り、仕事内容を中心に製造業やサービス業に方向転換をしました。

[説明会参加] 3社 [エントリー社数] 5社 [面接社数] 3社 [内定社数] 1社

### ■就職活動で大変だったことは何ですか？

就職活動の準備です。留学生だから採用選考（面接や筆記試験）はやさしいと思ってましたが、日本人学生と同じ選考で、ライバルは日本人となるため、最初は準備不足で失敗しました。自己分析や企業分析は大事だと聞いてましたが、その意味が理解できなかったので準備が足りず、グループ面接で他の学生の受け答えに圧倒して、自分が言いたいことを伝えることができませんでした。

その経験を踏まえ、就職活動のプロセスや自己分析を再度見直しをして、内定まで諦めず取り組みました。

### ■後輩へのメッセージ

自己分析をしっかりして、面接対策をすること。就職活動は1回で終わらないので、選考を受け終わったら振り返り、面接で聞かれた内容をメモして、次回うまく話せるように準備すること。

- ①十分に準備して、早めに行動すること。気になった企業を見つけたら悩まずにエントリーして進める。
- ②留学生だからと優しくしてくれない。採用は日本人と平等に選考される。
- ③就活は疲れるので、休息を入れながら気長に頑張ること。

いい結果が出なくても楽観的に考えて前に進めば、自分に合う会社を見つけられるので頑張ってください。

【法人データ】本社所在地 | 岐阜県養老郡養老町飯田1372 設立 | 2005年8月 資本金 | 1,000万円  
年商 | 59億円 (2019年3月期) 従業員数 | 97名 (外国人留学生採用実績あり)

【採用情報】募集職種 | 生産管理職 仕事内容 | 国内外の工場へ発注、品質・納期管理、貿易事務等

【選考データ】選考過程 | 書類選考、個人面接 (2回)

面接で聞かれたこと | 自己紹介 (日本語・英語)、志望動機、自己PR、学生時代に一番力を入れたこと、入社したらどんな商品を企画したいか、中国語→日本語 (翻訳)